

学校だより特別号

特集 令和6年度後期学校評価

京都市立醍醐小学校 校長 松下智洋



本校では、学校教育目標の実現を目指し、学校評価としてアンケートを行っています。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。さて、3月に実施いたしましたアンケートにつきまして結果をまとめましたので、みなさまにお伝えいたします。本結果をもとにこれまでの教育活動等を振り返り、本校の子どもたちはもちろんのこと、本校に関わりのある方々も含めまして共に、みんなで成長できる醍醐小学校をめざしていきます。今年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。

アンケート【児童】

目標に向かってがんばって取り組んでいる。



自分にはよいところがあり、今の自分が好きだ。



人が困っているときは進んで助けている。



「ありがとう」や「ごめんなさい」が伝えられる。



学校に行くのは楽しい。



困りごとや不安があるときに先生に相談できる。



自分から進んで体を動かしている。



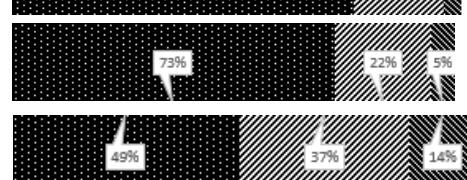
自分の住んでいる「醍醐のまち」が好きだ。



将来の夢や目標(こんな人になりたい・できるようになりたい)をもっている。



自分から学習に向かっている。



自分の考えを伝えることができている。



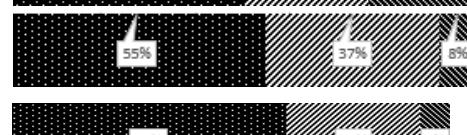
自分から進んで家庭学習をしている。



自分から進んで読書をしている。



自分から進んであいさつをしている。



先生は私の良いところを認めてくれている。



アンケート【保護者】

学校は、よりよい教育活動に向けて努力していると思う。



自分は、子どもたちにその子自身のよさを積極的に伝えられている。



自分は、子どもが自分や人を大切にできるよう働きかけている。



自分は、子どもたちに時や場に応じて、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えられている。



子どもは、楽しく学校に通うことができている。



自分は、子どもたちの相談に乗れている。



わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉掛けをしたり、機会をもったりしている。



自分は、地域や社会の活動に参加できている。



わが子が、本をよく読むように声をかけたり、本をすすめたりしている。

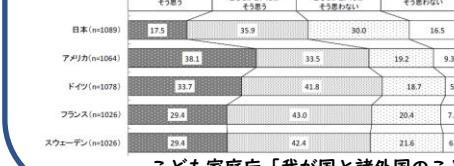


【参考】世界的な傾向は・・・

私は、自分自身に満足している



今自分が好きだ

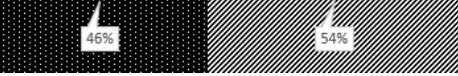


自分の考え方をはっきり相手に伝えることができる



こども家庭庁「我が国と諸外国のこども若者の意識に関する調査」(令和5年度)より

学校だよりやホームページで学校の様子が伝わってくる



子どもたちは、交通ルールを守り、安全に気を付けて行動している



アンケート【教職員】

自分は、学校教育目標の実現のために努力していると思う。



自分は、子どもたちにその子自身のよさを積極的に伝えられている。



自分は、子どもが自分や人を大切にできるよう働きかけている。



自分は、子どもたちに時や場に応じて、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝えられている。



自分は、子どもたちが楽しく学校に通うことができるよう働きかけている。



自分は

「社会に出たときにどんな力を身につけていてほしいですか。」（上位を紹介）

「保護者の方の回答」

- 1 自分の考え方やおもいを効果的に相手に伝える力 (51%)
- 2 多様な人とおりあいを付けて、他者とよりよく関わる力 (49%)
- 3 「自分ならできる」という自己効力感 (45%)

「教職員の回答」

- 1 自分の考え方やおもいを効果的に相手に伝える力 (73%)
- 2 自分で自分の気持ちをコントロールする力 (67%)
- 3 多様な人とおりあいを付けて、他者とよりよく関わる力 (40%)

「地域の方の回答」

- 1 自分の考え方やおもいを効果的に相手に伝える力 (46%)
- 2 多様な人とおりあいを付けて、他者とよりよく関わる力 (38%)
- 2 自分で自分の気持ちをコントロールする力 (38%)
- 2 自分が困ったときに人に助けてもらう力 (38%)

「その他」に記入していただいた回答の中から

紙面スペースの都合上、すべてのご意見を掲載することができません。申し訳ありません。

何事にもよくよしてては前に進めない。失敗しても自分の気持ちをコントロールし自己効力感で前に進んで欲しい。【保護者の方から】

自分にとって少しハードルが高い目標を立てて、小さな成功体験を積み重ねることで、自己効力感が少しずつ高まるのではないかと考えます。子どもたちが、自分自身で「こんなふうにしよう!」「がんばってしよう!」と「判断」「決断」する姿が「成長」そのものであり、今年度も学校の中でそのような場面がたくさん設定できたらと考えています。

学校という集団で得られる関わり、経験、競争、たくさんの刺激を受けて、自分で考え前に進める力を身につけてほしいと思っています。【保護者の方から】

「学校は小さな社会である」と言われます。人が集って毎日過ごしていると、いろいろな出来事があります。嬉しいこともあります。しかし、そのひとつひとつを「他人事」として捉えるのではなく、自分自身とのつながりを考えて「自分事」として捉えることが、よりよく生きるために必要な力につながるのだと思います。

まずは子どもたちが『自分自身を好きになり、それぞれ持っている自分の良さを最大限に伸ばし、大切にできる生き方』改めて目的目標からの逆算、その為に今、自分は何をするべきか？ 子どもたちに期待しつつこれからも見守っていきたいと考えています。【保護者の方から】

子どもたちによりそう中で、常にもっておきたい視点ですね。子どもたちとのコミュニケーションを大切にしながら、子ども自身が何を大切にしているのか、何が好きなのか、どのような成長のプロセスをたどっているかを見つめ、子どもの内なるやる気を引き出したいものです。

自分の考え方や思いを伝えるのが苦手で情けない思いをしたことがあるので、子どもたちには表現力豊かになってほしいと思います。【保護者の方から】

単に知識を蓄えるといった「インプット」することだけではなく、「アウトプット」つまり自分の言葉で話すことをはじめとした「アウトプット」の経験を積むことで 自信が増し、さらには思考が整理されたり深まったりして大きな成長につながっていくことだと思います。

自己表現力はもっとも大切なスキルであると思います。無限の可能性を秘めた子どもたちには、いつまでも忘れないでチャレンジする気持ちを持続けてほしいと思います。【地域の方から】

イチロー選手が野球の殿堂入りのコメントで「自分なりに自分なりの完璧を求めて進んでいくのが人生」と語っていました。いろいろなことにチャレンジすること、こだわって極めていくことって大事だと思います。何事もそつなくできる力も大切ですが、「これが得意！」「これなら任せて！」という一点突破は最強だと思います。